

平成25年度

長岡京市立中学校国際理解教育推進事業

米国マサチューセッツ州
アーリントン姉妹都市訪問
報告書

長岡京市立中学校国際理解教育推進協議会

は じ め に

学校教育課指導主事

平 山 孝 次

4月25日に出発して5月5日までの11日間、中学生16名、高校生5名、引率者5名の計26名が長岡京市の代表として、アーリントンを訪問してまいりました。出発前にはボストン市内で衝撃的な事件が起き、本事業が実施できるのかとも思われました。しかし、事件の概要が早期に明らかとなり、全行程を無事終了することができました。本事業を御支援いただきました関係者の皆様、そして、温かく見守っていただきました保護者の皆様には、心より御礼を申し上げます。

追悼広場にも立ち寄る機会を得ましたが、「ボストン・ストロング」を合言葉にボストンの人々が深い悲しみから立ち上がろうとする姿勢を感じ取ることができました。この場をお借りし、被害に遭われた方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。

さて、全行程を振り返りますと、これまでの訪問団員と同様、与えられたチャンスを生かしてチャレンジし、自分自身をチェンジすることができたと確信しております。今年度の訪問団員には、「アグレッシブに、そして、togetherで困難を乗り越えていこう」という話をしました。

全行程の中で、印象に残ったことが3つありました。

1つ目は、ハーディ小学校で「Sweet Caroline」の合唱発表。聞いておられた校長先生が涙ぐみながら、「訪問団員の歌声が、元気を失いかけていたボストン全体を明るくしてくれた」と称賛してくださいました。訪問期間中の団員は、常に前向きでした。そんな普段からのようすが聞いてくださった校長先生にも伝わったものと思います。

2つ目は、桜祭りのオープニングを飾った鳴子踊り。訪問期間中に計4回の発表を行ったのですが、常々「数滴の涙を浮かべながら、やってよかったと思える発表にしよう」と言い続け、踊りも進化を続けました。最後の発表となった桜祭りの際には、団員自ら考えた円陣を組んでから発表をしました。その姿に、見ていた私までも熱くなりました。

そして、3つ目は、団員同士がきょうだいのように仲が良かったということです。高校生の存在は大きく、常に中学生は頼っていた感じがしました。中学生も、ちょっとした休憩時間になれば、サッカーやかくれんぼ等を、男女関係なく一緒に遊んでいました。

訪問期間中に何人かの中学生が「100の英会話を覚えてアメリカに来たはずなのに・・・」ということ話を話してきました。要は、覚えることと生活の中で活かすこととは違うと感じたようです。アメリカでは、オーバーな表現やオーバージェスチャーこそ、心を開いて話を聞いてもらえるところがあります。今回の経験を一つのきっかけにして、訪問団員が今後世界中の人たちとつながっていくことを期待するばかりです。

終わりになりますが、今回の訪問に際しまして、各小学校、中学校、高等学校はもとより、アーリントンの方々の温かい歓迎と格別なる御支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

世界がつながっていることを実感させられる本事業が益々発展していきますとともに、来年度の30周年を盛大に迎えられることを祈念し、団長からの報告とさせていただきます。

目 次

はじめに

I 訪問の部

- 1 訪問団員名簿 1
- 2 訪問日程 2
- 3 生徒感想文 4
- 4 アーリントンだより 1 5

II 来訪の部

- 1 訪日団員名簿 3 1
- 2 訪日日程 3 2
- 3 訪日団引率者挨拶 3 4
- 4 訪日団生徒挨拶 3 5
- 5 アーリントン訪日団友好紀行 3 7

I 訪問の部

1. 訪問団員名簿

役員・引率者

役職	氏名	備考
団長	平山 孝次	長岡京市教育委員会 指導主事
引率	寺西 悠子	長岡第三中学校 教諭
引率	ボラッサ ジャスティン	長岡京市 英語指導助手
引率	小川 紀子	長岡京市 訪米団学習会指導員

生徒

学年	氏名	備考
2 年	岩田 圭太	長岡中学校
3 年	石橋 采子	長岡中学校
3 年	能勢 昌吾	長岡中学校
3 年	川戸 萌愛	長岡中学校
3 年	佐本 寛和	長岡中学校
3 年	久保 緋音	長岡中学校
2 年	田村 光	長岡第二中学校
3 年	矢野 更紗	長岡第二中学校
2 年	時田 萌香	長岡第三中学校
3 年	中川 鴻美	長岡第三中学校
3 年	谷尻 七架	長岡第三中学校
3 年	三井 百香	長岡第三中学校
2 年	湯川 啓介	長岡第四中学校
3 年	勝木 結衣	長岡第四中学校
3 年	上原 朋子	長岡第四中学校
3 年	村橋 碧空	長岡第四中学校

高校生訪問団

役職・学年	氏名	備考
団長	西山 尚幸	西乙訓高校 英語科教諭
2 年	藤本 しほり	西乙訓高校
2 年	小林 諒	西乙訓高校
2 年	武田 玲翔	西乙訓高校
2 年	牟田口 輝一	西乙訓高校
2 年	和田 みなみ	西乙訓高校

2. 訪問日程

月 日(曜日)	時 間	行 程
4/25 (木)	5:20 6:20 8:20 9:40 11:30 11:20 13:00 14:30 15:10 17:30	長岡京市出発 伊丹空港到着 伊丹空港出発 成田空港到着 成田空港出発 (日付変更線通過) ボストン空港到着 アーリントン到着 ロビンス図書館を見学 ロビンス図書館横の公園散策 各ホストファミリー宅へ移動
4/26 (金)	7:15 8:00 15:00 17:15 23:00	アーリントン高校集合 学校見学と交流プログラムに参加 アーリントン高校でホストファミリー迎え アーリントン高校で再度集合し、その後野球観戦 アーリントン高校到着後、ホストファミリーと帰宅
4/27 (土)		ホストファミリーディ
4/28 (日)	9:45 11:00 17:30 18:30	アーリントン高校集合・出発 キャノビーレイクパークの歴史を学習 キャノビーレイクパーク出発 アーリントン高校到着後、ホストファミリーと帰宅
4/29 (月)	9:15 9:45 14:15 16:00 17:30 19:30 20:00 20:30	アーリントン高校集合・出発 サイエンスミュージアムを見学 地下鉄で移動 イーグルズカフェで夕食 スクールバスに乗車 タウンホールに到着 タウンホールでタウンミーティングを見学 ホストファミリーと帰宅
4/30 (火)	9:15 10:00 15:00 19:15 20:00	アーリントン高校集合・出発 クジラ観測船に乗船 ファニエルホールでショッピングと夕食 スクールバスに乗車 アーリントン高校到着後、ホストファミリーと帰宅

月 日	時 間	行 程
5/1 (水)	9:15 10:00 11:30 13:00 14:30 15:00 16:30 17:15 18:00	アーリントン高校集合・出発 フリーダムトレイル(オリエンテーリング) ファニエルホールで昼食 州議事堂を見学 テロ追悼広場を見学 ブルーデンシャルビルでショッピング スクールバスに乗車 アーリントン高校到着後、ホストファミリーと帰宅 ポットラックパーティに参加
5/2 (木)	8:15 8:30 12:30 13:00 14:15 15:00 16:45 17:15	ハーディ小学校集合 学校見学と交流プログラムに参加 ハーディ小学校を出発 ハーバードスクエアで昼食 ハーバード大学見学ツアーに参加 ハーバードスクエアでショッピング ハーバードスクエアでスクールバス乗車 アーリントン高校到着後、ホストファミリーと帰宅
5/3 (金)	7:15 7:30 12:00 14:30 15:45 17:30 20:00 21:45	オトソン中学校集合 朝食後、授業を体験 オトソン中学校カフェテリアで昼食 ウッドジムで桜祭りのリハーサル 夕食後、オトソン中学校へ移動 桜祭りに参加 ダンスパーティに参加 ホストファミリーと帰宅
5/4 (土)	9:00 10:00 10:30 13:10 15:50 18:30 19:55 20:45 21:45	ロビンス図書館でお別れ朝食会に参加、ホストファミリーが見送り アーリントン出発 ボストン空港到着 ボストン空港出発 (日付変更線通過) 成田空港到着 成田空港出発 伊丹空港到着 伊丹空港出発 長岡京市到着

3. 生徒感想文

長岡中学校 2年 岩田 圭太

僕は、今回の訪問で初めてアメリカに行きました。アメリカと聞くと、ハンバーガーやピザなどのファーストフードを思い浮かべる人も多いと思います。僕も行く前まではそうでした。飛行機で13時間。日本とは異なるアーリントンで、10日間生活しました。現地での活動は楽しく、日本では体験できないようなものまで、毎日新しい発見ばかりでした。例えば、ホエールウォッチングでは間近でクジラを見て、自然のスケールの大きさに感動しました。ダンスパーティでは、最初は入りにくく戸惑っていたけれど、次第に慣れていき、学年や男女関係なく楽しめました。でも、楽しいばかりではありませんでした。なぜなら英語という大きな壁があったからです。僕自身英語は得意ではありません。

実際にホストファミリーの家で生活をして、会話をしてもなかなか伝わらなく、知っている単語を並べた感じでした。でも、伝わらないからこそ分かった事もあります。それは、工夫をしてみる事です。ジェスチャーで伝えたり、行動してみたりなど、たくさんあります。ホストファミリーもやさしく接してくれました。訪問団のチームワークも深まっていくことができたと思います。初めは、学年や学校も違う他人からのスタートで、学習会や鳴子踊りで仲良くなりました。引率の先生方には、大変な迷惑をお掛けしましたが、その分良い思い出もできました。本当にありがとうございました。

長岡中学校 3年 石橋 采子

私がアーリントンに行って学んだことは、感謝の気持ちを大きな声で伝える大切さや、自分の思いを伝えることの難しさ、仲間と協力しあうこと、相手を思いやることの大切さなどです。アーリントンの人たちは、同じ「ありがとう」でもジェスチャーをつけたりして、言い方が違っていてすごく気持ちが伝わってくる「ありがとう」で、日本人との差を感じました。でも、一番差が大きく感じられたのは、言葉です。半年間日本で勉強してきましたが、勉強したフレーズや知っている言葉だけだと、自分の思いが伝えきれなかったり、言葉はあっても発音が悪くて、伝わらなかったことがあって、すごく悔しかったです。それでもくじけずに、何とかして自分の思いを伝えようとするのが大切だということもわかりました。そして、半年間一緒に勉強してきた仲間。この仲間がいたからこそ学べたことがたくさんあり、鳴子や歌も成功させることができ、これまででやることができたのだと思います。失敗したときは、みんなで励ましあい、成功したときはみんなで喜び合うことのできる最高のメンバーだと思います。この10日間、本当に貴重な体験をさせてもらったのですから、日本に帰ってきたから終わりというのではなく、これをスタートにして今後活かして成長していきたいと思います。

僕はこのアーリントン訪問で、様々なものを見たり、体験したりしました。そしてその様々な体験の中で、二つ特に心に残った事があります。

一つは、アメリカ人はとても陽気で、とてもノリが良いということです。これを特に感じたのは、ダンスパーティの時でした。日本では、ダンスパーティはあまりないので、始まる前は少し緊張していました。しかし、会場に行くと、とても賑やかだったので、楽に混ざることができました。踊っていると、男女関係なく近づいて一緒に踊ってくれました。日本でも、これがあればいいと思いますが、日本でやるとアメリカと違って盛り上がりにくいだろうと思います。アメリカ人なら男女関係なく恥ずかしがらずに踊りますが、日本人は恥ずかしがってなかなか踊れないだろうと思いました。日本人はアメリカ人のような積極性を見習わないといけないと思いました。

二つ目に僕が強く印象に残ったことは、アメリカの国歌を歌う時、必ず全員が大きな声で歌っていたことです。僕はこれを見たとき、とても感動しました。アメリカ人は本当に自分の国を愛していることがわかりました。日本で「君が代」が流れても、歌わない人がたくさんいるのです。とてもすっきりしない気持ちになります。国歌を歌うのは、その国で生きている以上、しなければいけない事だと思います。

アーリントンに行って、もちろん日本の誇れるところもありましたが、やはり日本にはとても大切な愛国心がアメリカと比べて欠けていると思います。もっと愛国心を持つことができれば、もっと日本はいい国になれると思います。今回は、本当に良い体験ができたと思います。

「うわあーアメリカやん！！」13時間の長いフライトを終え、テンションが上がっていた私。これから始まるんだ、頑張らないと、とやる気で一杯でした。

アメリカは想像以上に、心の大きな国でした。見知らぬ人が私に「Hi!!」や「Hello!!」と声を掛けてくれました。そのことにすごく驚き、日本だったら絶対にありえないだろうなあ、と思いました。また、授業中は、おやつを食べている人や、喋っている人、中には歯磨きをしている人がいても先生はまったく怒らなくて、日本との違いを痛感しました。また、アメリカ人みんなが陽気で、いつも笑っていること。この10日間でアメリカ人の心の大きさに驚かされました。

ホストファミリーは、とても優しい方でした。私の決してうまくない英語に、耳を傾けてくださいました。アメリカの生活になじめなかった時も、優しく接して下さったホストファミリーには、本当に感謝しています。特に、ホストファーザーやマザーには、毎日の食事や送り迎えなど、本当に助けていただきました。これからもEメールでつながっていけたらな、と思っています。ありがとうございました。

また、今まで私を支えてくれた家族、友達、メンバーのみんな、引率の先生方、本当にありがとうございました。いろいろと迷惑を掛けたとおもいます。本当に感謝で一杯です。私はこのメンバーでアーリントンに行けて本当に良かったです。絶対に忘れません。

僕は、「アーリントンに行った」という感覚より、「アメリカに行った」という感覚が強いです。その中での思い出や、つらかったこと、大変だったこと、気づいたことを全部は書ききれないので、一部を紹介します。

まず、楽しかったことは、学校訪問です。小学校・中学校・高校すべての学校が、日本とは180度違っていて新しい発見や、「あ、これ日本でもやったらいいな。」と思うことがたくさんありました。まず違った点は、中学校に行った時に、シャドーイングをしてくれたオーレンから聞いたのですが、アメリカというミドルスクールは、6年生、7年生、8年生が通うらしいです。と、いうことは、日本でいう中学三年生は、もう高校生なのです。

しかも、アメリカでは高校までが義務教育なのです。他には、ハーディ小学校に行った時、アメリカ人だけでなく、韓国人、日本人、フランス人、ロシア人、イギリス人など世界各国からこの小学校に集まっているのです。僕より小さい小学校2年生くらいの日本人の子が英語がペラペラなんです！僕はめちゃくちゃ驚いたと同時に、くやしかった。そして、カッコいいなと思いました。高校では、授業の違いに驚きました。日本では、みんな椅子に座って授業を受け、生徒は寝ている人もいれば集中して聞いている人もいます。しかし、アメリカ人の生徒は、必ずしも席について座っているわけではなく、床に座っている人もいれば、ゴミ箱に座っている人もいます。しかし、誰ひとり寝たりせず、全員が先生の目を見て集中して授業を聞いていました。すべての学校訪問を通して感じたのは、自由です。しかし、自由というのは怖いと思いました。「なぜか？」それは、結果がすべてだからです。アメリカはアメリカでいいところもあれば、日本は日本でいいところもある。この違いを体験できて、僕の今後の人生のプラスになると思いました。

私がアーリントンに行って一番印象に残っていることは、オトソン中学校訪問の日のことです。その日は、現地の中学生と2人1組でペアになって、授業に参加しました。授業の中で驚いたことは、2つあります。一つ目は、板書がほとんどなかったことです。生徒はみんな先生の話を聞き、デジタル教科書を参考にしながら自分でノートをまとめていました。そのおかげか、みんな授業に集中しているのでとてもいい環境で授業を受けることができました。二つ目は、みんな積極的に自ら挙手をし発言する人がたくさんいたことです。

私の学校では、大抵の人が先生にあてられたら嫌そうだけど、オトソン中学校では逆にとてもあててほしいような様子でした。私も今後、オトソン中学校の生徒のように積極的に授業に参加し、自分がアーリントンで学んできたことをみんなに伝えて、これからの学校生活に生かしていきたいです。

アーリントンに行った10日間で、僕はアーリントンと長岡京市の市民の暮らしの違いについて勉強しました。まずは食事です。朝食は家庭によって違いますが、僕はワッフルや小さい食パンのようなものを食べました。昼食はピザやハンバーガーなど、がっつりした食事でした。ここまでは想像どおりだったのですが、驚いたのは夕食です。たいていはお肉と野菜なのですが、お米を使った料理も出てきました。アメリカ人がたまにはお米を食べるのは知っていましたが、10日間の滞在で、まさかお米がでてくるとは思いませんでした。以上が食事についてです。次は生活習慣です。アメリカ人は靴を履いて家の中で生活すると思っている人が多いと思います。実際、僕もそうでした。しかし、中には日本と同じで、靴を脱いで生活している人もいるということがわかりました。次はお風呂とトイレです。日本では、お風呂とトイレは別々になっていますが、アメリカの家庭ではセットになっていて、同じ部屋にあります。ホテルのバスルームのような感じです。

最後は家の外ですが、日本では家と家の間は、別の建物や駐車場、公園などがない限り人が一人通れる程度しかありません。でも、アメリカの家には庭があり、車が一台通れる以上の広さがあります。これらが、僕がアーリントンに行って一番勉強になったことです。

次は思い出です。一番の思い出は、オトソン中学校での授業体験です。日本とは違う内容の授業を英語で勉強することができました。実際、何を言っているのかまったくわかりませんでした。貴重な体験ができました。他にも、桜まつりやダンスパーティも思い出です。桜祭りで踊った鳴子は全員団結して踊ることができ、感動しました。ダンスパーティは、初めは全然のれなかったけど、最後はノリノリでお腹が痛くなるほど激しく踊りました。アメリカ人はノリがいいのでとても盛り上がりました。日本ではあまり体験できないことです。僕は初め、このグループに入ったとき、正直不安でいっぱいでした。でも学習会を通して徐々に溶け込み、最後には言葉で伝えきれないほど大好きな仲間になりました。このメンバーでアーリントンに行くことが出来て本当にうれしかったです。ここで学んだことを生かし、これからの生活態度を見直していきたいと思います。

私は、今回のアーリントン訪問で、たくさんの経験をしました。そして二度と忘れないような良い思い出もたくさんできました。私は、インターネットで、アーリントンは何が有名なのか調べると、「クランベリージュース」ということがわかり、ホストファミリーに飲みたいと伝えました。すると、朝食と夕食に必ず大きなペットボトルで出てきて、昼食は小さな容器に入れて持たせてくれました。大きなペットボトルがなくなると、次はハイビスカス味のクランベリージュースが出てきてびっくりしました。

ホストファミリーの中で、特に親しくしてくれたのは次女のマヤで、部屋を案内してくれたり、プレスレットを作ってプレゼントしてくれました。姉のソフィアは、一緒にネイルをしたり、クッキーを作りました。ホストマザーとファーザーは、ホストファミリーディにバレエ教室の見学や海に連れて行ってくれました。家族のように接してくださりアーリントンから帰るのが寂しかったです。かかわってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。いつかまた訪れたいです。ありがとうございました。アーリントン最高！！

長岡第三中学校 2年 時田 萌香

私はアーリントンに行く前、期待と不安が半分ずつでした。でも、ホストファミリーと会ったときから、不安はほとんどなくなっていました。私はこのアーリントンの訪問で、色々なことを学び、たくさんの貴重な体験をしました。その中でも特に印象に残っているのが、オトソン中学校への訪問です。オトソン中学校では、日本人一人で授業に参加しました。その時に、日本とアメリカの違いをたくさん発見しました。

例えば、先生が移動するのではなく、生徒が移動したり、授業ごとにクラスメートが違うということなどです。また、アメリカ人はとても積極的で、生徒全員で授業を作っている雰囲気があり、日本の学校もこんな風になってほしいなと思いました。廊下ですれ違った人達がたくさん話しかけてくれ、とても嬉しかったです。日本ではなさそうな感じでした。さらに、実際にアーリントンに行って痛感したのは、自分の英語力の無さです。現地でずっと英語に触れていて、少しは上手になったと思いますが、まだまだ聞き取れなかったり伝えられなかったりした事が多かったです。これからはたくさん勉強をして、相手が英語で話している内容がわかり、自分の意見も英語でしっかり伝えられるようにがんばっていきたいです。今回一緒に行ったメンバーは、みんなとても良い人たちで、私は中二で、年下だったけど、全員と仲良くなることができました。また、このメンバーでアーリントンに行きたいです。最後に、この訪問を支えてくださったたくさんの人々に、感謝の気持ちでいっぱいです。このような素晴らしい体験をさせていただいて、本当にありがとうございました。この経験をこれからの人生にも活かしていきたいと思います。

長岡第三中学校 3年 中川 鴻美

今回私はアーリントンに行って、とても多くの事を学び、経験し、そしてその全てを心から楽しむことができた。中でも最も印象に残っているのは、オトソン中学校での授業体験である。そこでは、私達日本人生徒とオトソン中学生徒たちがペアになって実際に授業に参加するという、すごく貴重な体験ができたと思う。アメリカの中学校は、授業間の休みがとても短いことや、一人ひとりに個別ロッカーがあること、そして毎回の授業がそれぞれ選択授業であることなど、日本とは全然違う点がとても多かった。そういった日本とはまた違うアメリカの中学生活を経験できて、本当に良かったと思う。

また、この他にも、みんなでがんばって練習した鳴子踊りの発表も、成功して良かった。少し失敗した事もあったけど、それをカバーして最後まで笑って踊ることができた。みんなの心を一つにすることができた瞬間だったと思う。10日間という本当に短い間だったけど、今回このアーリントンの旅は、私にとって本当に大切な歩みとなった。今回の経験で学んだこと、感じたことをこれからの人生でどんどん生かしていきたい。アーリントンに行けて本当に良かった。

長岡第三中学校 3年 谷尻 七架

私がアーリントンに行って、はじめて知ったのは、アメリカと日本の学校の違いです。日本の中学校での授業は、先生が生徒のみんなの前で説明する、という形ですが、アメリカの中学校では、私が出席した授業のほとんどの教科で、生徒それぞれが与えられた課題を一人もしくは友達と共同です、という形でした。また、クラスのメンバーは、どの教科でも変わらないのが日本の中学校ですが、アメリカでは、各教科ごとにメンバーが違いました。私はこれらの違いを知って、国が違うと考え方が大きく違ってくるのだなあと思いました。また、アメリカ以外の国の学校の違いも知りたいと思いました。アーリントンに行って学んだことがたくさんあるので、それらを今後の人生に活かしていきたいです。こんなすばらしい体験ができて本当に良かったです。

長岡第三中学校 3年 三井 百香

私はずっと行きたくてしょうがなかったアーリントンに行き、一生忘れられない思い出と感動をもらいました。私はもともとフレンドリーで、誰とでもすぐに打ち解ける自信があり、不安などはありませんでした。ホストファミリーに会ってすぐに仲良くなり、一緒に映画やボードゲーム、公園に行ったりしてとても楽しかったです。今まで頑張ってきた自分の英語が通じてとても嬉しく、世界ってすごいなと実感しました。ほかに心に残っていることはたくさんあります。オトソン中学校での授業にダンスパーティなどを通し、改めて英語の楽しさと面白さを感じました。オトソン中学校では、ペアの子と行動して本当の英語の世界に飛び込みました。写真を撮ったり、文化を教えあったり、心に残ることばかりでした。ダンスパーティでは、汗をかくほど踊り、本当に楽しい時を過ごしました。一生忘れられません。国など関係なく、すぐに仲良くなれるアメリカ人の優しさ、楽しさ、フレンドリーで陽気な人々が大好きです。そして、今回の訪問で学んだことは、上手い英語を話そうとするより、自分らしさが出ている英語の方がより伝わるという事や、フレンドリーさがいかに大切かという事です。ホストファミリーに言われた「いつでも帰ってきて！」という言葉が、とても心に残っています。だから私は、絶対にまたアーリントンに行きたいです。たくさん失敗したけれど、それをバネにして、これからも英語を頑張り続け、いつか絶対客室乗務員になります。

Arlington makes me very happy! いつまでも居たくて、涙が止まりませんでした。最後に先生方、人一倍迷惑を掛けてすみませんでした。本当にお世話になりました。一生の宝物になりました。

長岡第四中学校 2年 湯川 啓介

僕は初めて知らない人の家に泊まるホームスティに、とても楽しみな気持ちと、大きな緊張感を持っていました。まず緊張したのは、ホストファミリーとうまく話せるかどうかという心配でした。そして、日本との違いに馴染めるかどうかです。ホームスティ先に行くと、まずとても元気な笑顔で出迎えてくれました。それはホストファミリーだけでなく、近所の子供まで来ていて、いきなり会話がとまらない状態でした。

しかし、僕が話す時はすごくゆっくりになっていました。話す時は知っている単語をとりあえず並べて、伝えたいことに近い感じにしたり、ジェスチャーをしたりしました。聞くときは、意味が分からなくて困っていると、できるだけ分かり易いように一つずつ説明してくれました。僕は、みんながわざわざそのゆっくりとした会話で話をしてくれることがとても嬉しかったです。アメリカの家では、部屋に入ってきてもいい時はドアを開けて、ダメなときは閉めるという習慣がありました。日本の家では、トイレを使った後はドアを閉める習慣があるので、ホームスティ先でもたまたまドアを閉めてしまったりして、迷惑をたくさん掛けてしまいました。でも、ホストファミリーは「気になくていいよ。」と言ってくれました。そんなふうに迷惑をかけている僕に、いつも優しく明るく接してくれて、とてもいい気持ちになったので、僕も人には常に優しく明るく接していくといいのだな、と思いました。僕はこれからそんな風に優しい人間になっていきたいです。

長岡第四中学校 3年 勝木 結衣

4月15日、ボストンマラソンのゴール付近でテロが起こりました。そして、4人の犠牲者ができました。アーリントンに行く前のことだったので、すごくびっくりしました。それと同時に、すごく悲しい出来事だなとショックを受けました。私は、実際にテロが起こったところへ行きました。たくさん花が添えられていました。皆が犠牲者の方々のご冥福をお祈りしていることが、ひしひしと伝わってきました。本当につらい出来事でした。今回の交流では、分かりあうことの大切さを知ることができました。もっと皆が交流を深めあえたら、今回のような悲しい出来事は起こらなかったのに、と思いました。

「Finish Line」を見たとき、私はこれで本当に終わったのだな、と心から穏やかになりました。ボストンでこのようなことがあったこともあり、私はたくさんの事を考え、成長することができました。とても良い経験になりました。今回準備してくださった先生方、本当にありがとうございました。

この訪問の中で、私が一番皆さんに報告したいと思ったことは、中学校の授業の様子です。私は、ホストシスターと一緒に授業を受けました。二時間目のラテンで、私はとても驚いたことがあり、ずっと忘れられません。それは、クラス全員が授業に参加しているということです。皆が興味深そうに授業を受けていたのです。質問があればいつでも手を挙げ、他の人の質問の答えがわかった時も手を挙げ、先生も毎回詳しく説明していました。日本では質問すると、答えるのは先生だけで、他のクラスメートはつまらなそうにしていることが多いので、日本でもこんな雰囲気です。授業が受けられたらいいのに・・・と、思いました。1時間40分という短い授業なのも、密度の高い授業を集中して受けるからかな、と思いました。そして、ノートパソコンを持ってきて、机の上で使用している生徒がいても、ハンマーのようなおもちゃで机をたたいている生徒がいても、先生は何も言わないことにも驚きました。しかし、その生徒たちも積極的に授業に参加しているのを見て納得しました。クラスの人たちが生き生きと発言・質問するのを見て、ここでは成績を上げるためではなく、本当に興味があるから発言や質問をするのだ、と感じました。

自分の興味のあることをどんどん学び、究めるのは勉強以外のことでも感じました。私のホストシスターは絵が上手で、写真のような絵をたくさん見せてくれました。彼女の友達は、みんなとてもユニークで、自分の好きなことがはっきりしていました。日本では、流行や友達の影響で、放課後や休日にする「好きな事」を決めてしまったりするのに、アメリカでは自分で決めていました。今回、アメリカの中学生たちから学んだことを、今後に活かしていきたいです。

このアーリントン訪問で感じたことは、英語を話す英語力ではなく、コミュニケーション力が一番必要だということです。英語力もそうですが、コミュニケーション力をつける第一歩にもなったと思います。ホストファミリーとの会話でも、初日は伝えたいことがうまく伝えられませんでした。でも、日を積むごとに顔の表情や手を使ったり、関連する単語を使ったりして、上手くコミュニケーションがとれていきました。例えば、「この料理の味はどう？」と聞かれたとき、ただ「Good!」ではなく、笑顔で「Very delicious!」と答えた方が、相手もとても喜んでくれました。ホストファミリーも、僕が理解しやすい文章に変えてくれたり、コミュニケーションをとる中で、ホストファミリーの温かさも感じました。どうしたら相手がわかってくれるか、上手く気持ちを伝えられるかという力が、少しずつ身に付いたと思います。この力は、滞在中に訪問した中学や高校でも役に立ちました。それは日本ででも必要で、クラスの子や社会に出てからいろんな国の人との交流にも役立つと思います。これからの人生で、大切になってくる力をつける第一歩になったこの経験は、非常に貴重な体験でした。先生方、アーリントンのホストファミリーや現地の方々、本当にありがとうございました。

アーリントンで、私が一番印象に残っているのは、学校体験です。最初に行ったのは高校で、英語の授業に参加させてもらって一番感じたのは、生徒全員がとても授業に意欲的だということです。さらに驚いたのは、黒板をほとんど使わないこと。先生が質問し、生徒が答え、そして問いかける、という流れで授業が進んでいきます。しかも、その問いに色んな生徒が考えを言い合って、そこからまた新しい意見が出てきて、と、日本の学校のような静かな時間がほとんどありませんでした。小学校では、一人一人から大きなエネルギーを感じました。また、習字や日本の絵本や辞書など、日本に関係するものがたくさんあり驚きました。最後に訪れた中学校は、ほぼ一日授業に参加しました。思っていた通り、日本とは勉強のスタイルが全く違いました。高校と同様に、黒板をほとんど使わず、授業中に廊下へ出たり食べ物を食べていたり、自由でした。しかし、寝ている人は一人もおらず、皆が前のめりになって集中していたように思います。学校見学を通して、皆が勉強に積極的に取り組んでいることがよくわかりました。自分の意見をはっきりということは、大切なのだと改めて感じました。日本でも、この経験を生かして積極的に頑張っていこうと思います。

僕は、このプログラムに参加して、良い思い出になったからよかったというのではなく、この経験をこれからの自分の将来にどういかしていくかが大事だと思う。また、反省すべきところがいくつかあった。

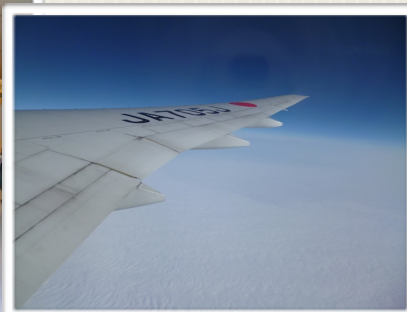
一つ目は、やはり積極性に欠けていた。訪問する前に何度も校長先生や市長の前で「積極的に話す」「積極的に行動する」と言っていたのにもかかわらず、控えめな行動を取ってしまったので、僕にとってはすごく悔しく、また恥ずかしいとさえ思った。8日目にオトソン中学校で授業を受けさせてもらった。もちろん周りは全員英語で話してくるので精神的に疲れた時もあった。授業が終わって日本人だけが集まると、僕は日本語にほっとしてしまった。その時は気が付かなかったが、今考えると自分の弱さだと思う。僕は、アメリカなどの海外では、英語があまりできなくても、身振りや手ぶりでどうにかなると思っていた。けれど、それは甘かった。もっとそれ以上に「覚悟」が必要だとわかった。自分は今から外国人として他人に見られるという「覚悟」や訪問したら絶対に悔いは残さないということなど、そういう気持ちで臨んでいけば、もっと違ったのではないかなと思う。

次回また海外へ行くときは、より勉強して、そして自分の周りの人のおかげで得た経験を生かして、将来へつなげていきたいと思う。

僕は、この国際交流プログラムに参加して、日本とアメリカの違いと自分の課題をたくさん見つけることができました。日本とアメリカの違いで印象に残っていることが二つあります。一つ目は日常生活です。朝食や夕食は、ほぼ必ずといっていいほど家族全員で一緒に食べました。全員そろって一緒に食べるということは、日本ではあまりないことだと思い、驚きました。さらに、遊ぶ時も家族全員で遊びました。日本では、お父さんはパソコンに向かったり、子供はテレビを見たりと、みんなバラバラのことをするのが多いですが、アメリカでは家族全員でカードゲームやボードゲームで楽しんでいた、とても仲が良いなと感じました。二つ目は、人への接し方です。日本では初めての人に話しかける時は、手探りで自分が一歩引いて気を使うのが一般的だと思います。しかし、アメリカでは自分から積極的に話しかけ、自分が一歩前に出ている感じがしました。とても気さくで、相手もとてもフレンドリーなので、最初から顔見知りのように思いました。アメリカ人の人柄の良さは、日本人も見習うべきだと身をもって感じました。そして自分の課題は、やはり英語力でした。中学校から約4年間学んできた英語は、少しは伝わりましたが、完璧ではなく、伝えたいことも単語がわからず困ったことが多々ありました。リスニングも一度で聞き取ることが難しく、アメリカ人の英語はとても違い、「生きた英語」に圧倒されました。自分の英語力の低さを改めて感じ、とても悔しかったです。この貴重な体験を通して、しっかり学んできたことを生かし、それをステップにし、次に進んでいきたいです。

「Together & Aggressive」これらは、平山団長が掲げた僕たちの訪問目標です。そして「アメリカの人々のものの見方やとらえ方を感じる」これが僕の掲げた僕自身の目標です。Together に関しては、リーダーとして、はぐれる人や独りの人がいないようにできたので、達成できたと思います。Aggressive ですが、現地の様々なアクティビティでは、積極的に話しかけたり、覚えてきたフレーズを用いて会話ができたと思いましたが、同じ日本人間での会話をしている時に、安心感を感じている自分に気づきました。これは、僕自身の目標の大きな壁にもなったことだと思います。そこが、この訪問の残念な点でしたが、この訪問から得たことはたくさんあります。それは、アメリカの人々の温かさであったり、食文化、また、教育方法の違いなどです。様々な気づきの中で、僕が一番感心した気づきが、言語こそ違えど、伝えようという気持ちがあれば伝えたいことは伝わり、同じ人間としてなんら違うところはない、ということでした。僕は、アメリカの人々のものの見方やとらえ方を感じ取りたいと言いましたが、それ自体が間違っていると気づきました。それらは、もともと人間が持っている要素の一つであり、日本という範囲の中で抑制されているのだと、僕はこの10日間の訪問で考えました。アーリントン訪問で得た様々な気づきを、今後の人生で活かすと共に、貴重な経験をさせていただいた両親やホストファミリー、関係者方々への感謝を忘れずに生きていきます。

アーリントンに行って学んだことは、私がアーリントンに行く前に目標としていた「積極性」です。私たちは、アーリントンで高校、小学校、中学校に行き、授業を受けたり見学したりしました。その時に、どの学校でもみんなが授業に集中していて、どんどん自分の意見を積極的に出し、みんな授業を楽しんでいるように見えました。私はこの風景を見て、自分の意見を伝えたいときは、積極的になってしっかり伝えるということが、本当に大切だということに改めて気づきました。高校見学の後からは、自分のグループや中学生をまとめたり、積極的になろうとしていましたが、10日間では変わりきれていないと思います。これからの生活でも、アーリントンでの学校の様子や、生徒たちの授業の受け方を肌で感じたことを活かし、現地でやっていた時よりも、もっと積極的に自分自身を変えていこうと思いました。



長旅の疲れも見せず、到着した時の表情です。

Aggressiveに、そして、Togetherで！

無事到着しました。

フライトは、生徒にとっては長く感じたようですが、さすが直行便。以前より約3時間の短縮となりました。ちなみに、成田までの便が、新型のJAL SKY SUITE 777でピカピカ。ホームステイに関心を示されたCAさんから、サプライズなプレゼントをいただきました。

なお、生徒の公共マナーも良く、機内サービスを満喫している生徒がほとんどでした。

ローガン空港に到着後、アーリントンへ移動するハイウェイでは、生徒のテンションはマックスに。街の景観の素晴らしさを写真におさめようと必死でした。

アーリントンに到着すると、さすがに疲れが見え隠れ。しかし、感動的なホストファミリーとの出会いが待っていたので、また笑顔に。今頃、それぞれのホームステイ先で、英語で必死に思いを伝えようと奮闘していることと思います。

さて、明日からは早速アーリントン高校で授業を受けます。これまでの学習を活かして、アグレッシブにとけ込んでいくことを期待します。

保護者の皆さんにはご不安もあるのではないかと思います。いろいろなハードルを、together、みんなで乗り越えていけるよう、スタッフも支援をしていきます。生徒を見てみると、笑顔でハードルを越えていくような気がします。



伊丹空港出発前



成田空港行きの機内で



成田空港を出発

今日の写真



明日の予定

1. アーリントン高校訪問
2. 野球観戦（レッドソックスVSアストロズ）

Voice ～生徒達の声～

（けいた）飛行機の中は快適。ここで過ごせそうです。

（ともこ）時間の感覚がなくなりました。映画がたくさん見れました。

（ひろかず）日本車が多い。考えないとわからない違いを見つけたいです。

（きいち）テンション、マックスです！

（もえか）お家が大きく、庭も広くて、ビックリした。



THE ARLINGTON TIMES

H25(2013)/4/26 NO.2



生徒の歌声は、ホール中に響き、
アーリントン高校の生徒の心にも響
かせることができたと思います。

アーリントン高校訪問と野球観戦

昨夜は、ホストファミリー宅で初めて過ごしました。

朝の集合時には、食べさせてもらったもの等の話も聞きましたが、多くはグッスリと寝させてもらったというのがほとんどでした。

今日はまず、アーリントン高校を訪問。美術や英語の授業を体験した後、カフェテリアで昼食。お昼からは芝生のグラウンドでスポーツ。そして、Assembly（集会）に参加しました。

Assemblyでは、アーリントン高校の校長先生のあいさつの後、さいちのスピーチ、9月から留学予定のれおとみなみがスピーチ。記憶が飛びかけても、アーリントン高校の生徒は、冷やかすのではなく、拍手等で励ますような間を取ってくれているように感じました。これには、学ぶところがありました。

その後、歌やダンスの発表に移りました。1回目にも関わらず、もえのピアノ伴奏に乗せられて、歌声を

響かせることができました。ダンスは、音楽が聞こえにくかったというハンディを乗り越えて発表できました。

終了後、よかったところと改善点を話し合いました。最後の発表では、泣けるような発表になるよう互いに確認しました。

そして、野球観戦。日本人選手の田沢、上原が続けて出たので、思わず大声で応援しました。



英語の授業



カフェテリアでの昼食



オフィシャルショップで買い物

今日の写真



明日の予定

1. ホストファミリーデー

明後日は、キャノビレイクパークです。明日の発行はありません。ご了解ください。

Voice ～生徒達の声～

(あかね) セレモニーでは、歓声がすごかった。

(さらさ) キャーキャーと言ってもらって、すごく楽しかった。

(ななか) 発表はもっと頑張れたかなと思える。次はもっと頑張りたい。

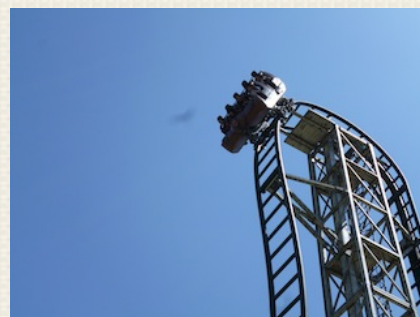
(そら) Very very exciting! <野球観戦後の一言>

(れおと) アーリントン高校の、マックスのテンションがあり得なかった。



THE ARLINGTON TIMES

H25(2013)/4/28 NO.3



絶叫しながらも、激しいコースターを何度も何度も乗っていました。

キャノビーレイクパークで休日過ごす

昨日はホストファミリーデー。1日空けての再会となりました。生徒たちは、どのように過ごしたのかをお互いに伝え合っていました。

聞いていますと、ホストファミリーのきょうだいが出場するサッカーの試合の応援に行った生徒、海に連れて行ってもらった生徒、クラムチャウダーを食べに連れて行ってもらった生徒などなど、それぞれの過ごし方があったようです。

今日は、遊園地の歴史を英語で学ぶ活動から始まりました。

その後、指導者と生徒リーダーとで決めたグループを発表し、グループ毎に回って行くことにしました。

グループ編成

- ①しほり、けいた、あかね、くみ
- ②りょう、もえ、ひかる、ともこ
- ③きいち、あやこ、もえか、そら
- ④れおと、しょうご、ももか、ゆい
- ⑤みなみ、ひろかず、さらさ、ななか、けいすけ

高校生が班長となり、中学生の意見を聞きながら、みんなが時間いっぱい楽しめるようにリードしていくことができました。中学生にとっては、頼ることができる存在に映ったと思います。

高校生班長への中学生コメントをビデオに残していますので、報告会で上映します時まで楽しみにしていただけだと思います。



1日空けての再会



遊園地の歴史についての学習



迎えが来るまで、遊びを

今日の写真



明日の予定

- 1 サイエンスミュージアム
- 2 ケンブリッジサイドギャラリーショッピングセンター
- 3 タウンミーティング見学



THE ARLINGTON TIMES

H25(2013)/4/29 NO.4



タウン・ミーティングを見学。街の大切なことを話し合う雰囲気を感じ取りました。

迫力がちがったサイエンスミュージアム

スクールバスでボストン市内へ移動し、サイエンスミュージアムを見学しました。

カミナリのおもしろ実験を実際に見せる等、迫力のあるコーナーが多いミュージアムでした。特に、「雷がなくても車の中はなぜ大丈夫か」を考えさせる場面、そして、カミナリの強さによって、音の高さが違うことを利用した音楽演奏を聞く場面には、誰も驚きでした。

見学終了後、こちらに来て初めて公共交通機関を利用。地下鉄に乗り、ジャスティン先生お薦めのハンバーガーショップへ。パンの間に10枚のハンバーガーがはさまった、非常に高さのあるハンバーガーを、みんなで分けて食べました。

そして、本日の終わりに、タウン・ミーティングを見学。オープニングでホームステイをしている生徒が紹介されました。

さて、アーリントンにきてから、およそ5日が過ぎました。気が付けば、明日から後半に入ります。

こちらには芝生の公園がいたるところにあるのですが、スクールバスの到着を待つ間、芝生公園で遊ばせることがよくあります。

中高生関係なく、異年齢で缶けりなどをしている姿を見ていると、引率者も思わずホッとさせられます。現在は、全員に1日1回は必ず話をするという課題を出しています。



地下鉄で移動

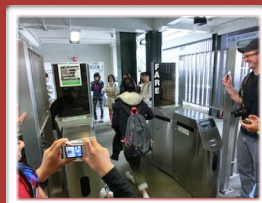


高さのあるハンバーガーに挑戦



芝生公園で休憩

今日の写真



明日の予定

- 1 ホエールウォッチング
- 2 ファニエルホールで
ショッピング

Voice ～生徒達の声～

- (しょうご) 映画の迫力がすごかった。電気の実験が印象的。
 (あやこ) アメリカの電車に乗れた。ハンバーガーがおいしかった。
 (ももか) 雷の実験にびっくり。ハンバーガーがおいしかった。
 (けいすけ) 雷のいろんな音、大きさがおもしろかった。
 (みなみ) 科学館は初めてでおもしろかった。

ハンバーガーは、肉を食べている感じ。



THE ARLINGTON TIMES

H25(2013)/4/30 NO.5



波もほとんどなく、しかも、快晴の下で、ホエール・ウォッチングができました。

Lucky weather!

到着して以来、雨が降ったことがないだけに、「まさかホエール・ウォッチングの日に降ってしまうのでは」と心配する声もありました。

ところが、上記にも示すような最高の天候の下、約1時間半ほど沖合へ移動したところで、何度も見る事ができました。

生徒たちがそれぞれのカメラで撮影したベストショットを互いに見せ

合っている間に、次のチャンスがきていたこともあったほどです。

最後の方では、船にかなり近いところで見る事ができ、感動もさらに増しました。

少し船酔いをした生徒もいましたが、下船後に徒歩でファニエルホールへ移動した頃には、回復していました。

前半は以前につくった班で、後半はフリーという形でショッピングを楽しみました。



乗船前のようす



ファニエルホールへ移動



ファニエルホールでショッピング

今日の写真



明日の予定

- 1 州議事堂見学
- 2 スワンボード乗船
- 3 ポットラックパーティー

Voice ～生徒達の声～

(も え) 船酔いはたいへんだったけど、買い物は楽しかった。

(ひかる) 班での買い物も、個別での買い物もよかった。リーダーは、一人一人の言うことを聞いていってくれてよかった。

(く み) もっと時間がほしくなるぐらい、楽しかった。

(ゆ い) ショッピングで、お菓子の味が濃いと感じた。

(りょう) おみやげも自分の物も買えて、楽しかった。

(しほり) クジラを見ることができてよかった。



THE ARLINGTON TIMES

H25(2013)/5/1 NO.6



追悼広場には、亡くなれた4名の方の遺影が飾られ、道行く多くの方が祈りを捧げていました。

BOSTON STRONG

フリーダムトレイルといって、ボストンのダウンタウンを中心に、独立戦争にまつわる史跡をつなぐ赤い線が歩道に引いてあります。午前中はこの赤い線を手がかりにして史跡を巡るオリエンテーリングに、グループで挑戦しました。

Granary Burying Groundなど、それぞれの史跡コーナーにおいて、「他の訪問客に史跡の前でグループ写真を撮ってもらうこと」といった課題が設定されていました。生徒はアグレッシブに英語で話しか

け、togetherで課題をクリアしてきました。アーリントンの方が考案してくださったプログラムは、英語の力を付けるよい機会となりました。

午後は、マサチューセッツ議事堂の見学とボストンコモンでのスワンボード乗船。議事堂では、アーリントン議員であるディブ・ロジャースさんとショーン・ガーバーリーさんにもお会いし、記念撮影をしていただきました。

ブルーデンシャルビルのスカイウォークはテロの影響により閉鎖されていましたが、ボストンマラソンのゴールラインや追悼広場へ行き、悲しみを新たにしました。

そして、夜はホストファミリーの皆さんが集い、パーティーを開いていただきました。そこで、コンテストの表彰を行い、参加者全員で長岡京音頭を踊り、パーティーは終了しました。



フリーダムトレイル



マサチューセッツ州議事堂見学



スワンボード乗船

今日の写真



明日の予定

- 1 ハーディー小学校訪問
- 2 ハーバード大学見学
- 3 ハーバードでショッピング

Voice ～表彰を受けた生徒達の声～

- (しょうご) コンテストに向けて努力を続けて損はなかったです。
- (も え) 感動しました。感激というよりも、感謝です。
- (あかね) うれしかったです。覚えたことを実用したいです。
- (そ ら) 暗記カードを使って練習したことで、緊張したところでも力を出せるようになってよかったです。
- (しほり) うれしいです。でも、1つ間違ったところがあって、それは悔しかったです。



ハーバード・ロー・スクール
(ハーバード大学 法科大学
院)の図書館を見学。図書館司
書の仕事について学びました。

Here to help!

今日も快晴の下、午前中はハーディ小学校を訪問。

セレモニーでは、ともこさんがスピーチをし、あかねさんがダンスについて説明をした後、ダンスと歌の発表。前回の反省を生かすとともに、膝下をさらに上げたことで、見ているこちらにも感動させられました。

歌の方は、「高校生の歌声が非常に響いていたので、中学生も高校生のまねをすれば、歌でも感動を与えることができるのでは」と高校生に

考えさせています。明日どんな工夫をして発表するのかを期待しているところです。

その後は、学校見学と文化交流(習字、けん玉、折り紙)をしました。英語でそれぞれのやり方を伝える苦労があったようです。よい学習の機会になりました。

お昼からは、ハーバード大学およびその周辺を見学。

ハーバード・ロー・スクールの図書館は、素晴らしい施設でした。見学後にいただいた鉛筆に、「Here

to help」という印字がありました。これは、「図書館司書の仕事とは何か」を伝えるため。研究者の研究活動の際には、研究そのものをお手伝いすることはしないものの、「研究活動を助けるためにここにいます」という思いを聞かせていただきました。

ハーバード大学内を散策した後は、最後のショッピングをハーバードCOOPで。誰にあげるのかを考えたしながら、生徒たちは買う物を選んでいました。



ハーディ小学校で文化交流



ハーバードCOOPでショッピング



スクールバスの運転手さんと記念撮影

今日の写真



明日の予定

- 1 オトソン中学校訪問
- 2 桜祭り参加
- 3 ダンスパーティー参加





それぞれの教科の教室へ、生徒が
休み時間の間に移動するスタイルの
学校でした。

オトソン中学でシャドーイングに挑戦！

オトソン中学の生徒とペアを組み、その生徒のクラスの授業に一人で参加しました。教室には訪問団の仲間がいないので、かなり厳しい挑戦になったと思います。シャドーイングが終了して控え室に戻ってきた時、「もっとやりたい！」という生徒もいましたが、「日本語で話せる！」とホッとしている生徒も一部いました。いずれにせよ、プレッシャーを乗り越えた後の満足感がみなぎっていました。

夕方からは、桜祭りに参加。

リーダー3人のスピーチは堂々としたものでした。

その後、鳴子と合唱を発表。これまで、「最後の桜祭りの発表を終えた時に、数滴涙を浮かべながら、やってよかったと思えるような発表にしよう！」と声を掛けてきました。今日のリハーサル終了後に、再度生徒たちに同じことを問いつけたところ、①大きな声を出すこと、②ジャンプの時は足を上げること、③テンポを合わせる等、いくつか注意点を挙げました。

また、鳴子の前には円陣を組むことも、生徒だけの話し合いで決めました。これだけの準備をすれば、結果はついてくるもの。見ている者を感動させました。

最後のダンスパーティーは、大盛り上がり。

ところで、明日はもう出発の日。今日の帰宅後、もしくは、翌朝に、ホストファミリーへの感謝の気持ちを「具体的な例を挙げて伝えるように」と話しました。きっと、上手く伝えていることでしょう。



緊張したシャドーイング



桜祭りで文化交流



盛り上がったダンスパーティー

今日の写真



明日の予定

- 1 お別れ朝食会
- 2 ローガン空港へ



Ⅱ 来訪の部

1. 訪日団員名簿

氏 名		学 年
1. Mr. Antony Kellermann	アントニー・ケラーマン	9（高校1）
2. Ms. Aya Burton	アヤ・バートン	8（中学3）
3. Mr. Ben Colety	ベン・コルティ	9（高校1）
4. Mr. Calvin McLean	カルビン・マクリーン	9（高校1）
5. Ms. Charlotte Barr	シャーロット・パール	8（中学3）
6. Mr. Christopher Lobo	クリストファー・ロボ	11（高校3）
7. Mr. Devon Jones	デボン・ジョーンズ	7（中学2）
8. Ms. Fiona Moseley	フィオーナ・モゼレイ	10（高校2）
9. Ms. Hanna Ali	ハンナ・アリ	10（高校2）
10. Mr. Henry Walters	ヘンリー・ウォルターズ	7（中学2）
11. Ms. Katie Brigham	ケイティ・ブリハム	8（中学3）
12. Mr. Kayshav Prakash	ケイシャブ・プラカッシュ	7（中学2）
13. Mr. Nik Streit	ニック・ストレイト	10（高校2）
14. Mr. Noah Milstein	ノア・ミルステイン	9（高校1）
15. Ms. Sadie Griesmer	セイディ・グリスマー	12（大学1）
16. Mr. Samuel Martino	サミュエル・マルティーノ	15（大学4）
17. Ms. Sarah Mangelli	サラ・マンジェリ	8（中学3）
18. Ms. Shulan Farley-Holmes	シュラン・フェアリーホームズ	8（中学3）
19. Mr. Carl Conti	カール・コンティ	9（高校1）
20. Mr. Andrew Garrity	アンドリュー・ギャリティ	引率者
21. Mr. Chris Martino	クリス・マルティーノ	引率者
22. Ms. Lisa Streit	リサ・ストレイト	引率者

2. 訪日日程

月 日（曜日）	時間	概 要
7月7日（日）	19:50	伊丹空港到着
	21:30	長岡京市役所到着後、各ホストファミリー宅へ移動
7月8日（月）	8:45	長岡京市役所集合
	9:00	市長表敬訪問
	10:15	長岡京市役所出発
	10:30	光明寺到着後、境内を見学
	11:30	光明寺出発
	12:00	回転寿司喜楽にて昼食
	13:00	回転寿司喜楽出発
	14:00	清水寺到着
	16:00	清水寺出発
	17:00	長岡京市役所到着後、ホストファミリーと帰宅
7月9日（火）	8:30	長岡第二中学校に集合し、交流プログラムに参加
	17:00	ホストファミリーと帰宅
7月10日（水）	8:30	長岡第四小学校に集合し、交流プログラムに参加
	12:30	学校給食を体験
	13:00	長岡第四小学校を出発後、長岡天満宮を見学
	15:00	乙訓高校で水球を体験
	17:30	ホストファミリーと帰宅
7月11日（木）	8:00	長岡京市役所集合
	9:00	太秦映画村到着
	11:30	太秦映画村出発
	12:30	西乙訓高校に到着し、交流プログラムに参加
	17:30	ホストファミリーと帰宅

日付	時刻	内容
7月12日（金）	8:45	JR 長岡京駅西口集合
	8:55	JR 長岡京駅出発
	9:24	JR 稲荷駅到着後、伏見稲荷大社を見学
	10:55	JR 稲荷駅出発
	11:48	JR 奈良駅到着後、昼食
	13:00	JR 奈良駅出発
	13:15	東大寺到着
	14:30	東大寺出発後、奈良公園及び奈良市内見学
	16:30	近鉄奈良駅出発
	17:27	JR 長岡京駅到着
	17:30	ホストファミリーと帰宅
7月13日（土）	10:00	嵐山モンキーパークいわたやま等を訪問（自由参加）
	18:00	中央公民館3階市民ホールでのお別れパーティーに参加
	21:00	ホストファミリーと帰宅
7月14日（日）	16:00	中央公民館3階和室で、長岡京市女性の会との浴衣体験
	18:00	祇園祭宵々々山を見学（自由参加）
	20:00	ホストファミリーと帰宅
7月15日（月）		ホストファミリーディ
7月16日（火）	5:30	JR 長岡京駅集合
	5:50	JR 長岡京駅出発
	6:17	JR 京都駅出発
	8:49	JR 品川駅到着後、成田エクスプレスで成田空港へ移動
	9:58	成田空港到着
	11:20	成田空港出発

3. 訪日団引率者挨拶

Speech by Mr. Andrew Garrity
アンドリュー・ギャリティ訪日団団長挨拶

Thank you Mayor Oda. Our time in Nagaokakyo has been absolutely wonderful. We have been treated with unparalleled kindness and generosity throughout our entire stay.

小田市長様、ありがとうございます。私たちは、ここ長岡京市で素晴らしい時間を過ごしています。滞在中、私たちはこの上ないほどの親切と快いもてなしを受けています。

No one in our group will ever forget the care and effort of our host families, Sonoe, Justin, and your office have put into making this trip so special.

ホストファミリー、園栄さん、ジャスティンさん、そして事務局のみなさんの御配慮や御尽力を、私たち誰一人として決して忘れることはありません。みなさんのおかげで、この旅はとても特別なものになりました。

During our stay we had the privilege to tour your schools. It has been inspiring to meet such friendly and energetic students, and to observe such compassionate and professional educators. The business people and public employees of Nagaokakyo have treated us with much respect and patience as we travelled throughout the city. The beautiful temples and other cultural locations have also been a great pleasure to experience.

滞在中、わたしたちは学校訪問をする機会に恵まれました。親しみやすく、元気な生徒たちに出会えたことや、思いやりにあふれ、意識の高い先生方の様子を見ることができたことは、とてもよい刺激になりました。市役所の方々も、私たちに敬意と広い心を持って接してくださいました。また、美しいお寺や、文化的に意味のある場所を訪れたことは、大きな喜びでした。

Kono isshuukan wa saikou deshta. Domo ARIGATO. You are all most welcome to come and visit us. We are all looking forward to returning your kindness, friendship, and hospitality when you come.

本当に、最高の一週間でした。どうもありがとう。いつか私たちを訪問してくださることがあれば、大歓迎いたします。訪問して下さった際には、あなた方がくださった親切、友情、温かいもてなしのお返しができることを楽しみにしています。

I have always thought of Japan and United States as best friends. It has been one of the best experiences of my life to experience such friendship first hand.

私は、日本とアメリカは親友だといつも思っています。こんな素晴らしい友情を、身をもって体験できたことは、私の人生で最も素晴らしい経験の1つです。

4. 訪日団生徒挨拶

Speech by Ms. Fiona Moseley 生徒代表フィオーナ・モゼレイの挨拶

Hello my name is Fiona Moseley and I am one of the student leaders of this group. I am so happy to be in Japan! I am also very grateful for this opportunity to experience your culture.

こんにちは。私の名前はフィオーナ・モゼレイで、この訪日団の学生リーダーです。日本に来ることができてとても幸せです！また、みなさんの文化を体験する機会をいただき、とても感謝しています。

I am very grateful for the warm welcome we received from the people of Nagaokakyo, especially Mayor Oda. I thank you for being so welcoming and thinking so highly of the sister city program, this program means so much to me.

長岡京市民の皆様、そして小田市長様から受けた温かい歓迎に感謝します。そして、みなさんのもてなしと、この姉妹都市プログラムに対する想いの強さに感激しています。このプログラムは私にとって大きな意味があります。

I have hosted two students in the past two years and this is my first time coming to Japan. It will be exciting to be the student now when I have always been the host in the past. And I am very excited to see both my past students while I am here in Japan.

私は、この２年間で２人の日本人生徒をホストファミリーとして迎えましたが、私にとっては、日本を訪問するのはこれが初めての機会です。今までは、アメリカで訪問団員を迎える側だったので、今回は私自身が団員として活動できることをとても嬉しく思います。そして、日本にいる間に、私がホストした２人の友人に会うのを楽しみにしています。

I would also like to thank Superintendent Yamamoto for letting us experience school life in Japan. It is very different from schools life in America, so it is very interesting and fun for us to experience your schools. Thank you.

また、山本教育長様には、滞在中に学校生活を体験させていただいたことを感謝します。日本の学校生活はアメリカのものとは全く違ったので、みなさんの学校を訪問することは、とても興味深く楽しいものでした。ありがとうございました。

Speech by Mr. Nik Streit
生徒代表ニック・ストレイトの挨拶

Hello my name is Nik Streit I am a student leader. Mayor Oda, I would like to thank you and the City of Nagaokakyo for granting us this opportunity to come visit your city and experience your incredible culture.

こんにちは。私の名前はニック・ストレイトで、学生のリーダーです。

小田市長様と長岡京市に対して、この街を訪れ、素晴らしい文化を体験する機会を与えてくださったことについて感謝したいと思います。

I have hosted for 2 years and this is my first time visiting Nagaokakyo, So I get to see all of the people I have met through this program.

私は、2年間ホストファミリーとして日本からの訪問団員を迎えました。そして、私自身は今回が初めての長岡京市への訪問です。今回の訪問で、この姉妹都市交流プログラムを通して出会った全ての友人と再会できることになります。

This is a really amazing program and I am very honored to take part of it. The program is special to me because I have met some amazing friends.

このプログラムは本当に驚くべきもので、参加できたことを心から光栄に思っています。また、私にとって本当に特別なものです。なぜなら、訪問を通して素晴らしい友人たちと知り合うことができるからです。

I am very excited for all of the planned activities and I am going to remember this trip for the rest of my life. I look forward to making more life-long friends and will hopefully be able to visit in the future.

私は、滞在中に予定された全ての活動をととても楽しみにしていますし、この旅のことは一生忘れないでしょう。生涯の友人を見つけて、将来また長岡京市に戻って来ることを楽しみにしています。



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 1

★★今日の主なプログラム July 7-8 2013★★

大阪空港到着、市長表敬訪問、光明寺、清水寺

Arrival (Osaka Airport), Meeting the Mayor, Komyoji, Kiyomizu-dera



大阪空港に到着。20 時間の長旅でぐったり。
Finally arriving in Osaka after 20 hours !



ホストファミリーが、みんなカビソのお面で出迎えました。
Host family meeting...Where's Calvin ? !



市長への表敬訪問です。
Meeting Mayor Oda at City Office !



光明寺で、抹茶をいただきました。
A different way to take the T(ea) !



回転寿司でお皿のタワーを作りました。
The conductors of the sushi train !



清水の舞台で集合写真を撮りました。
Kiyomizu Temple is one of Kyoto's finest !



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 2

★★今日の主なプログラム July 9 2013★★

長岡第二中学校

Nagaoka-Junior High School No.2



長岡第二中学校で約 500 人の歓迎を受けました。
Exchanging Japanese and American culture!



みんなでビートルズを大合唱！
2 countries, 1 harmony: Singing “Hey Jude”!



調理実習でおにぎりを作りました。
Trying our “hand” at making *onigiri* (rice balls)!



ドッチボールで、一致団結！
It's impossible to *dodge* making new friends!



地域の方と、竹細工を体験。
Making bamboo vases – Nagaokakyo's specialty!



剣道部の練習に参加しました。
We “ken-do” kendo!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 3

★★今日の主なプログラム July 10 2013★★

長岡第四小学校、乙訓高等学校

Nagaoka-Elementary School No.4, Otokuni High School



長岡第四小学校で、ダンスを披露しました。
Yon Sho "Cotton Eyed Joe"!



じゃんけん列車で大盛り上がり！
All aboard the Rock Paper Scissors train!



長四小のアイドル、しろちゃん！
The star of Yon Sho : Shiro chan the goat!



習字にチャレンジ！
Lending Kayshav a hand with calligraphy!



しろちゃんを囲んでの集合写真。
Group photos really *behoove* Shiro chan



乙訓高等学校で、水球を体験させていただきました。
We can't cap our excitement for water polo!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 4

★★今日の主なプログラム July 11 2013★★

東映太秦映画村、西乙訓高校

Toei Uzumasa Movie Park, Nishi-Otokuni High School



忍者に捕まっちゃった！

That's the problem with ninjas....



忍者に変身！

Now the students have become the masters!



お侍さんと、記念撮影しました。

The (second to) Last Samurais!



西乙訓高校で、生まれて初めてのお掃除。

American students see how good they have it!



茶道を体験しました。

Honorary members of the tea ceremony club!



生徒たちとの交流を記念して・・・

Two countries, two flags, one great exchange!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 5

★★今日の主なプログラム July 12 2013★★

伏見稲荷大社、奈良

Fushimi Inari, Nara



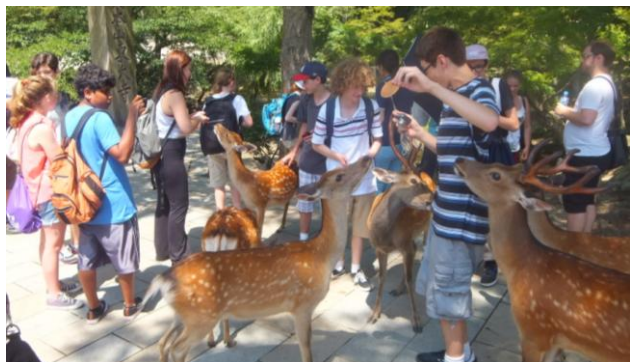
伏見稲荷大社で、何をお願いしましたか？

Learning to pray at Fushimi Inari's torii gates!



たくさんの鳥居に、びっくり仰天！

How many gates are there? At least a *vermilion*!



奈良公園で、たくさんの鹿に囲まれました。

Fawning over the deer in Nara City!



鹿に大人気でした。

Nara: A place so *deer* to our hearts!



東大寺で、お線香をあげました。

Lighting incense at Todai-ji temple.



大仏の鼻の穴、通り抜け成功！

Boogeying through the Big Buddha's nostril!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 6

★★今日の主なプログラム July 13～16 2013★★

嵐山モンキーパーク、浴衣体験、お別れ

Monkey Park, Yukata, Farewell



嵐山モンキーパークに登っています。
Hiking Up Monkey Mountain!



山頂で、たくさんの猿と出会いました。
Monkeying around in Arashiyama!



女性の会に御協力いただき、浴衣を体験！
Experiencing Yukata with Women's association!



出発の朝、長岡京駅で新幹線の説明中です。
Not ready to go home...



また会う日まで・・・
We'll miss you...



ホームに向かって、最後のお別れをしました。
One big sister city homestay family!



アーリントン訪日団 友好紀行



長岡京市教育委員会 教育部 学校教育課 No. 7

★★今日の主なプログラム July 13 2013★★

フェアウェルパーティー

Farewell Party



市長からお別れのスピーチをいただきました。
Mayor's farewell speech!



17歳のバースデーを祝いました！
Almost farewell, and almost a birthday!



けん玉大会で、熱い戦いが繰り広げられました。
Having a ball with *kendama*!



けん玉大会の入賞者です。
A winner of *kendama* competition!



過去の訪問団員も駆けつけてくれました。
Enjoying a meal on stage!



最後に、長岡京音頭を踊りました。
Dancing the Nagaokakyo Ondo!